

平成 25 年度実績に関する施策・基本事業評価表(兼 主要な施策の成果報告書)

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち
施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
主管課名	環境安全課		
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・公害のない安全で快適な生活環境が保たれています。 ・市民や事業者の環境保全の意識が高まっています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	・環境問題に配慮し、近隣の迷惑にならないように騒音、振動、排水などに留意します。
	行政	・環境監視体制の充実及び指導、パトロールの強化並びに環境保全や啓発活動を行います。
	その他	

区 分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	6 (5)	5 (3)			
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	1 (1)	1 (0)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	5 (4)	4 (3)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—					
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—					
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	5,634	5,136			
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	4,256	4,119			
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	1,378	1,017			
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—					
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—					
	C. 施策に携わるのべ正規職員数合計	人	—	11	9			
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	1,840	2,440				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	8,094	10,233				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	13,728	15,369				
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	127	117			
	同 上	円	—	183	232			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	183	232			
同 上	円	—	310	349				
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	310	349				

参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194			
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036			

基本事業概要シート①

施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
基本事業名①		公害の防止	
基本事業①の目的(意図)		身近な生活環境が良好に保たれるように大気汚染、水質汚濁、騒音などを監視し、測定体制の充実を図ります。また、環境汚染などの未然防止を図るため、事業者への環境保全にかかる指導などを推進します。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		【公害防止対策事業】 ・地下水位常時観測(5箇所)、河川水質調査(鴨川、角川、片貝川)、地下水水質調査、自動車騒音常時監視調査、環境騒音調査等を行い生活環境が良好に保たれていることを確認しました。また、公害苦情等があった時には、調査を行うとともに指導・改善の指導を行いました。	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
典型7公害の苦情受付件数	件	38.0	37	37	36	36	36	35.0	30.0
			29	29	39	25			
河川の水質の調査の結果が環境基準を達成している割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			100.0	100.0	94.0	100.0			

基本事業①を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	公害防止対策事業	4,405,000	4,119,012	285,988	A	環境安全課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			4,405,000	4,119,012	285,988		

基本事業概要シート②

施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
基本事業名②		環境保全活動の推進	
基本事業②の目的(意図)		市民への情報公開、団体の保全活動への支援を行うとともに、環境保全活動と一体となった環境教育を推進します。	
平成25年度における 主な事業内容(活動内容)		【環境保全啓発事業】 ・「第19回環境フェスティバル」を開催(H25.9.28 ありそドーム)し、企業、団体等による環境美化及び保全活動を紹介するとともに、市民の環境保全に対する意識の啓発に努めました。 【環境保全活動推進事業】 ・市内の環境保全活動に取り組む団体に対し、「環境保全活動支援事業補助金」を交付しました。 (5万円×2団体=10万円)	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
環境の保全のための取組みを行っている市民の割合	%	—	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	66.0	80.0
			—	35.9	50.9	46.1			

基本事業②を構成する事務事業の実績							
No.	会計名	事務事業名	平成25年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	環境保全啓発事業	330,000	313,651	16,349	A	環境安全課
2	一般会計	環境保全活動推進事業	1,152,000	288,524	863,476	B	環境安全課
3	一般会計	アダプト・プログラム事業	422,000	415,000	7,000	B	環境安全課
4	予算なし	墓地経営許可・改葬許可事務	0	0	0	A	市民課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			1,904,000	1,017,175	886,825		

施策No.	36	施策名	生活環境の保全と向上
-------	----	-----	------------

25年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【公害の防止】</p> <p>◆公害関係法令が整備されたことや事業所等の公害防止意識の高まりなどから、典型7公害の苦情件数は、減少しています。典型7公害の最多は「水質汚濁」の15件で、この内9件が、一般家庭の『灯油漏れ事案』となっています。</p> <p>◆河川の水質については、下水道や合併処理浄化槽が整備、普及されたことや市民団体等による環境保全活動が行われていることなどから、環境基準を満たし水質は保全されています。</p> <p>【環境保全活動の推進】</p> <p>◆環境保全活動に関する市民アンケート結果では、「環境保全に取り組む市民の割合」は、50%前後で推移しています(H25:実績46.1%、達成率72%)。しかし、「今後取り組みたい」と回答した市民が31.3%もいることから、環境保全の意識や必要性は概ね理解、認識されていると考えられます。</p>
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (25年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<p>◆事業所については、一度の公害発生が重大な健康被害や生活環境への悪影響をもたらすおそれがあるので、引き続き、公害監視を行っていくこと。また、一般家庭については、灯油漏れ等の日常生活で発生する近隣公害に関して、市広報、ホームページ、チラシ配布による啓発や注意喚起を行い、発生防止に努めること。</p> <p>◆近年、微小粒子状物質(PM2.5)の飛散とその健康被害が大きな問題となっている。二酸化硫黄、二酸化窒素、光化学オキシダント等を含めた各種の大気汚染物質の監視及び連絡体制を維持するとともに、市民への情報提供に努めていくこと。</p> <p>◆市民団体等が行う環境保全等の活動が広がるよう、引き続き支援すること。</p>	

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	施策の重要度	一般
	<p>◆公害防止のため、水質や騒音等の公害監視を引き続き実施します。また、近年問題となっている微小粒子状物質(PM2.5)などの大気汚染物質についても監視と連絡体制を維持し市民への情報提供に努めます。</p>	